

日本性科学会 ニュース

第20巻第1号

平成13年(2001年)3月

発行人:野末 源一 印刷所:株式会社

1. 第30回 性治療研修会

日 時 2001年4月22日(日)

場 所 山之内製薬本社(東京) 2Fホール

プログラム

9:20~9:30	開会の挨拶	日本性科学会理事長	野末 源一
9:30~11:00	人間の性反応(女性) (男性)	平和学院看護学院校長 聖ヨゼフ病院院長	野末 源一 長田 尚夫
11:00~12:00	日本性科学会倫理規定 —WASの倫理規定をもとにして—	国立千葉病院産婦人科医長	大川 玲子
12:00~13:30	昼休み 尚、13:00~13:30 日本性科学会総会		
13:30~14:00	不適切な発言をしやすい理由と背景	千葉大学名誉教授	武田 敏
14:00~15:30	小グループディスカッション		
15:30~15:50	コーヒーブレイク		
15:50~16:50	全体ディスカッション	日赤医療センター臨床心理士	金子 和子
16:50~17:00	閉会の挨拶	日本性科学会副理事長	長田 尚夫

2. 第21回日本性科学学会開催予告

第21回日本性科学学会を下記のように予定しています。奮って御参加くださいますよう御案内申し上げます。

期 日 2001年10月21日(日) 9:00~18:00

場 所 千葉大学 けやき会館 千葉市稲毛区弥生町1-33 (JR西千葉駅下車、徒歩5分)

会 長 大川 玲子(国立千葉病院産婦人科医長)

I 特別講演 「美術史から見た女性のセクシュアリティ」池田 忍(千葉大学文学部助教授)

II 会長講演 「ワギニスマスから見た男女のセクシュアリティ」大川 玲子

III シンポジウム 「性と生殖の新たな展開」

性機能障害と妊娠・出産 不妊治療とセクシュアリティ

生殖補助医療における生命倫理 他

[一般演題] 思春期・更年期・老年期の性 男女の性機能障害 STD/HIV 性暴力

sexual minority 避妊・妊娠中絶・出産・不妊 性教育 その他

締 切 2001年7月31日

事 務 局 国立千葉病院産婦人科医局(大川玲子)

〒260-8606 千葉市中央区椿森4-1-2

電話 043-251-5311 FAX 043-254-1349 (総合医局)

応募方法などは追ってお知らせします。詳細は学会事務局、又は日本性科学会事務局へお問い合わせください。

Vol. 20

日本性科学会

〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館3F

長谷クリニック内

TEL 03(3475)1780 FAX 03(3475)1789

No.
1

セックスレスの症例

日本赤十字社医療センター 金子和子

セックスレスの増加が言われて久しい。性相談に来るセックスレスの殆どは男性の性欲相の問題であり、性欲相の障害は、しばしば深い人格的な問題と結びついており、興奮相、オーガニズム相の障害よりも治療が困難である。しかし中には、人格的問題への働きかけをしないにもかかわらず、問題が、少なくとも表面的には、解決する場合もある。そうした一例を紹介したい。

症例：A男38歳 獣医師 A子32歳、獣医師

主訴：性生活が無い

結婚歴：恋愛結婚 4年6ヶ月

初診：1999年2月

治療回数、期間：9回 8ヶ月

来所までの経過：（初回に、A子は一人で来所して次のように述べた。）

「A男とは結婚前に約5年の付き合いがあるが、その間一切性行為は無かった。A男は自分が初めて。自分は他にもある。結婚後普通に性行為があり、2年前に一度妊娠し、2ヶ月で流産してしまった。その後ほとんどなくなってしまった。自分も流産後精神的に不安定になり、A男にあたった。流産後体調が戻って、自分は子供がほしくなったが、A男はそうした気持ちになれない。こちらが待ち設けていてもその気配が無いので、切れる。自分の中で気持ちを押さえられず、醜態をさらしているので、A男はこうした姿が脳裏に焼き付いていて、セクシャルな場面でもセックスまで踏み込めないのだと思う。A男は性行為をしようとする。しかし、勃起しにくく挿入できない。性交を試みても、流産後うまくいかないことが数回あった。A男は元来いきにくく、時間がかかる。間で休んだりして3～4時間かかる。射精は流産後2～3度のみ。それ以外はピストン運動中になる。」

A男は性的関心が乏しいが、自分は普通に性欲もあり、欲求不満をどうしたらよいのかと思う。性的な関係以外では、A男は理解があり、精神的には満たされている。子供は、二人とも欲しい。自分の年齢を考えると、プレッシャーになる。」

A子は今風なおしゃれで、甘えた口調で、獣医師的なてきばきした感じは無い。

経過：ThはA男の来所を要請した。やってきたA男は中肉中背で、やはりおしゃれである。明るく人懐っこい感じで、聞かれると、正直に話すという印象をうける。

「カウンセリングは自分が希望して始まったことである。自分はこのことを深刻なことと思っている。A子は物を投げたり、包丁を出してきたり、暴力を振るったりするので、かなり力づくで押さえる。まずいと思う。昨日も……初め旅行の話をしていた、夜2時ごろになり、自分はカーペットで寝てしまった。3時半ごろ、手をたたくので起きた。A子は、『欲求不満で眠れない。すぐ（性交を）やってくれ』と言う。こういう感じでマンネリ化している。流産前にA子が荒れる頻度が高まった。やっと妊娠できてほっとしたというのがあった。前から射精は遅い。マスターべーションでは遅くない。元来的には淡白。前から足りない、と言われていた。頑張ってと言われて頑張る。妻が荒れたときはいつもやる。すぐにはその気になれないから、『ちょっと時間頂戴』と言って30分くらい何とかして、それからするが、苦痛になっている。しかし、しないとA子がおさまらない。A子は、『夫にも相手にされず惨め』という。」

挿入を伴う性行為を禁止し、二人が性行為を楽しむことが重要とのThの説明に、A子はThの前では了解したものの、「自分は何をしていればよいのか」とA男に迫る時期が続いた。A男はこうしたA子に辟易した気持ちを抱き、それを察したA子が荒れるという悪循環が続いた。ThはA子の性行為は愛情の証と思う気持ちを説明するとともに、A子にも、A男の、うまく行かないと叱られるという不安を何度も説明した。

次第にA男は二人の関係への洞察を深めていった。つまり、会話でもA男はA子とのキャッチボールが好きというよりは、自分が関心のあることを語るのが好きであること、A子が「貴方についていく」と言うので結婚を決めたのに、彼女の顔色をうかがっている、等々。それと同時に、A子の、依存性と、それを良しとしていた自分にも気づいていった。

やがて二人はA子の仕事を減らして、二人で過ごす時間を増やしていく。そのことにより、A子はかなり安定した。二人の関係が良くなったところで、タッチング等を宿題としたが、A男は不自然と拒んだ。A子は不満であったが、ThはA男を支持して様子を約3ヶ月見つけたところ、A子の弁では突然にうまく行くようになったという。A男から誘うようになり、時間もかからず、射精まで行くようになったとのことである。

考察：何が問題で、セックスレスになり、何が変化して問題が解決したのだろうか。良く言えば、二人の関係が改善され、つまり、A男が自分の対人関係のありようを認識し直してA子を受け入れるようになり、A子は安心感をもち安定して、二人の関係が落ち着き、A男が性的場面で不安を抱かなくなったことが問題解決へ繋がったと言えよう。

一方、症例研究会では、次のような指摘もあったことを付け加えておく。すなわち、「A男の対人関係のありようが変わっ

たわけではなく、かつても、自分ひとりで性行為するのと同じ感じでA子と性行為をしていたが、それがA子の自己主張で崩れ、性欲を失った。しかし、A子が安定することにより、また元のパターンを取り戻したのだ。」と。また、次のような意見もあった。「深く問題を堀下げるなどを好まないA男は、問題を終了するために性的側面を変化させたのだ。」と。
どれが正しいかは今の段階では不明である。いずれにしろ、性欲というのが、非常に対人関係に依存しているということだけは言えるであろう。

書評

「ブレンダと呼ばれた少年」

(ジョン・コラピント著 村井智之訳 無名舎 2000)

亀田総合病院 塚田 攻

原題は“AS NATURE MADE HIM”であり、いわゆる Money's twin に対するノンフィクションであるとともに、ジョン・マナーに対する告発の書となっている。著者はジャーナリストでこの書に先駆け1997年「ローリング・ストーン」誌に“The True Story of JOHN/JOAN”を掲載し、全米雑誌賞を受賞している。この段階ではすべて仮名であったが、それでは当事者デイヴィッド・レイマーが元々の名前であったブルースからブレンダへ、更にデイヴィッドへと変わった内面が十分に伝えられない理由と、デイヴィッド自身カムアウトしてもよいという心境に達しつつあったというタイミングもあって、すべてが実名になっている。更にプライバシー権利放棄証書を得て、でき得る限りの資料にあたり、充実した内容の書になっている。

構成は3部16章からなり、第1部=S Fゲーム、第2部=自分の生い立ちを知る、第3部=自然のままの姿で、となつており、第3部のタイトルが書名の原題と一致する。

本書では、ジョン・マナーがジョンズ・ホプキンス大学病院で推進しているインターフェックスに対する治療と性転換治療に対して、カンザス大学の若き大学院生ミルトン・ダイアモンドが生物学的根拠をもとに疑義を唱え、共同研究を呼びかけるという状況を紹介している。そのような中で、ジョン・マナーのもとに医療事故によってペニスを失った一卵性双生児の兄ブルース・レイマーが連れて来られた。マナーにとっては、遺伝子も養育環境もすべて同じという対照があり、性転換治療を受けて順調に行くのであれば、性別の門は生後しばらくは開かれており後天的要素によって決定されるという自説がすっかり証明されることになるという格好の症例であったに違いない。しかし本書には、その後の強引とも言える治療内容とそれに伴うデイヴィッドの苦悩が詳細に綴られている。

ジェンダー治療のバイブルとまで言われたジョン・マナーの「性の署名」の出版が1975年である。そのときブレンダは既に10歳だった。「性の署名」の中ではすべてが順調であるかのように報告されているブレンダは、本書の記述によれば、マナーの年1回の診察を嫌悪し、日常の生活では女の子として適応するには程遠いところにいた。この記述を比較すると、結局「性の署名」はこの実験治療の失敗を覆い隠すために書かれたのかという疑惑が湧いてくる。そのような目で見ていいくと、実際に以前「性の署名」を読みながら感じていた種々の疑問が解けていくような気がするのである。例えば、予測しない事態に備えて、本人には実際にあったことを告知してあったという記述からは、順調に経過しているという報告をとても信じることができなかった。

本書を読んで、もうひとつ重要なことを感じている。それは、デイヴィッドの内面的苦悩の歴史が、典型的な性同一性障害、特にFTM TSの心理過程の典型的なものと一致するということである。本書は、この症例が性転換治療の実験と一人の性科学者の学説を擁護するために利用されたことを鋭く告発する内容になっている。しかし、もう一方の側面から見ると、図らずも実験的に作られた性同一性障害者の内面の残酷ではあるが貴重な記録でもある。

実際に性同一性障害の治療では、親はどうしても子供が性同一性障害とは信じられない、そんな気持ちは理解できないという場面に出会う事が多い。そんな時「もしあなたが異性の体になって異性としての生活を強いられたらどんな気持ちでしょうか。お子さんはそんな気持ちが長くずっと、しかも24時間続いているのです」と説明することもある。共感的な親はそれで気づいたように涙を流したりもするが、一蹴してしまう親もいる。そのようなときに何かよい本はないかといくつかの本を紹介してきたが、もうひとつ有力な書を得た気がしている。

種々の医療の世界で、特にまだ十分解明がなされていない分野については、患者も治療者もするような思いで治療方法を模索する。そのような状況ではカリスマ的存在に頼りたくなるものであるが、ジョン・マナーはまさにそのような存在であったのかもしれない。しかし、本当に我々が頼るべきは、権威でもカリスマでもなく、あくまで目の前にある真実であることを容赦なく突き付けてくる1冊であった。

(尚、訳語の中に「性別再判定・性別再判定手術」等見受けられ、早く訳語の統一に着手しなければとも感じ反省しております)

資格認定制度委員会より

資格認定制度委員会委員長 阿部輝夫

「セックス・カウンセラー」「セックス・セラピスト」の過渡的措置に基づく資格認定は平成12年度をもって終了致しました。平成13年度より、以下の資格認定規定に基づき、「セックス・カウンセラー」「セックス・セラピスト」の資格認定を行います。

本年度の資格認定応募期間は、8月1日～8月31日を予定しております。詳細は、日本性科学会ニュース第20巻第2号（6月発行）に、記載致します。

日本性科学会「セックス・カウンセラー」「セックス・セラピスト」資格認定規定

- 第1条 「セックス・カウンセラー」は、クライアントの性に関する不安や悩みに対し、カウンセリング技法や各種相談過程を通して、間接的に性機能障害に関わり、結果的にこの障害を解消することもある。しかし、これが主目的ではなく、広く性相談にかかるものである。これに対し、「セックス・セラピスト」は、より限定された専門的職能により、性機能障害の直接的な治療を行うものである。
- 第2条 本学会「セックス・カウンセラー」及び「セックス・セラピスト」の資格認定は、本規定に基づいて行う。
- 第3条 資格審査は「セックス・カウンセラー」及び「セックス・セラピスト」としての必要な基礎的知識、技能、研究能力等について行う。試験方法は、書類審査、ケースレポート審査、面接試験により行う。
- 第4条 「セックス・カウンセラー」の資格認定を申請する者は、次の事項のすべてに該当しなければならない。
1. 本学会の会員であり、かつ会員歴が引き続き5年以上の者。
 2. 本学会が主催する「日本性科学会学術集会」に3回以上出席した者。
 3. 本学会が主催する「研修会」に4回以上出席した者。
 4. 関連学会で研究発表を1回以上行った者。
 5. 性科学に関する研究論文を1編以上公表している者。ただし、共著論文の場合は申請者が筆頭者か、第2著者、第3著者に限る。
- 第5条 「セックス・セラピスト」の資格認定を申請する者は、次の事項のすべてに該当しなければならない。
1. 本学会の会員であり、医師、臨床心理士、保健婦、助産婦、看護婦、その他医療職としての資格を有する者、あるいは、これらと同程度の技能を有すると思われる者で、かつ会員歴が引き続き5年以上の者。
 2. 本学会が主催する「日本性科学会学術集会」に5回以上出席した者。
 3. 本学会が主催する「研修会」に4回以上出席した者。
 4. 関連学会で研究発表を3回以上行った者。
 5. 性科学に関する研究論文を2編以上公表している者。ただし、共著論文の場合は申請者が筆頭者か、第2著者、第3著者に限る。
- 第6条 理事会は、本学会員の中から「スーパーバイザー」を任命して、資格試験の審査にあたらせ、「セックス・カウンセラー」と「セックス・セラピスト」の教育・指導を行わせる。
- 第7条 資格認定を申請する者は、所定の申請書、証明書等にケースレポート（400字詰め原稿用紙30枚程度、ただし、ワープロによるA4用紙も使用可）及び審査料を添えて、資格認定委員会宛に申請する。ケースレポートの内容は、申請書類の研究業績に記載される論文等とは重複しない1～2例の事例を含むものとする。
- 第8条 資格認定の審査は、原則として年1回とし、毎年8月1日から8月31日の間に申請を受け付ける。
- 第9条 資格審査料は「セックス・カウンセラー」3万円、「セックス・セラピスト」5万円、登録料は2万円とする。
- 第10条 認定を受けた者は、本学会名簿の、「セックス・カウンセラー」及び「セックス・セラピスト」として登録される。登録された者には登録証を交付する。登録証の有効期限は5年とし、別に定める所定の手続きを経て更新することができる。
- 第11条 認定された後、ふさわしくないカウンセリングやセラピーが行われた場合には、認定制度委員会の審議を経て、理事会において資格を取り消すことがある。本学会を退会した場合には、資格は消失する。
- 第12条 本規定の運営は認定制度委員会が担当する。委員は理事会の議を経て理事長が委嘱する。

- 付則1. 本規定は平成9年5月1日から施行する。
2. 本規定の改正は理事会において審議決定する。
3. 過渡的措置に関しては別に定める。
4. 本規定中の“本学会”とは、日本セックスカウンセラー・セラピスト協会を含む。

新幹事紹介

塚田 攻
亀田総合病院 精神科部長 日本精神神経学会「性同一性障害に関する特別委員会」委員
埼玉医科大学 ジェンダークリニック委員会委員

会費納入のお願い

会計年度の改訂により（日本性科学会会則第8章）、4月より新しい年度（平成13年4月1日より平成14年3月31日）に入りますので、平成13年度会費15,000円の納入を、よろしくお願い致します。手数料が無料となります、学会の郵便振替用紙を同封致しますので、ご利用下さい。